

ワンヘルスマスター育成プログラムが開催されました



令和5年11月29日(水)、大牟田市動物園にて福岡県主催の「ワンヘルスマスター育成プログラム」が開催されました。

〈ワンヘルスマスターとは…〉

ワンヘルスの基本(理念、歴史、現状)から実践的なワンヘルスの取組例まで教えることができ、積極的にワンヘルスの啓発活動を行う人です。

◎大牟田市動物園

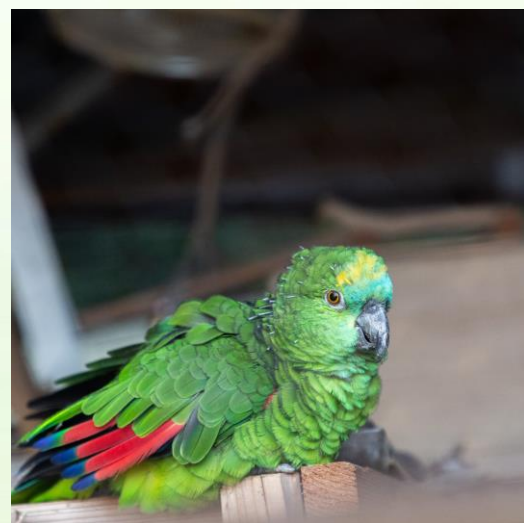
大牟田市民の憩いの場である延命公園に隣接し、1941年に開園した歴史のある動物園です。1992年にリニューアルされ、大牟田市動物園となっています。「動物福祉を伝える動物園」というコンセプトのもと、日々動物たちの生活の質の向上に取り組んでいる動物園です。

(動物福祉とは…)

動物が精神的にも肉体的にも十分に健康で幸福であり、環境にも調和していることを意味しています。



研修プログラムは、大牟田市動物園の椎原春一園長・富澤奏子さんによる「人と動物の共生社会づくり」についての講演と動物園の説明・見学が行われ、見学では「屠体給餌とたいきゅうじ」が実施されました。



とたいきゅうじ

【屠体給餌とは】

屠畜した家畜や駆除された野生動物を、動物園の肉食動物に与えることです。全国的にイノシシやシカ等が増えることにより、農作物への被害が深刻化した結果、野生動物の駆除が行われています。駆除された個体のほとんどは、破棄されてしまいます。動物たちの命を少しでも無駄にしないように、大牟田市動物園では環境エンリッチメントの一環として、屠体給餌を始めました。屠体は募金によって肉食動物にプレゼントされます。

(環境エンリッチメントとは・・・)

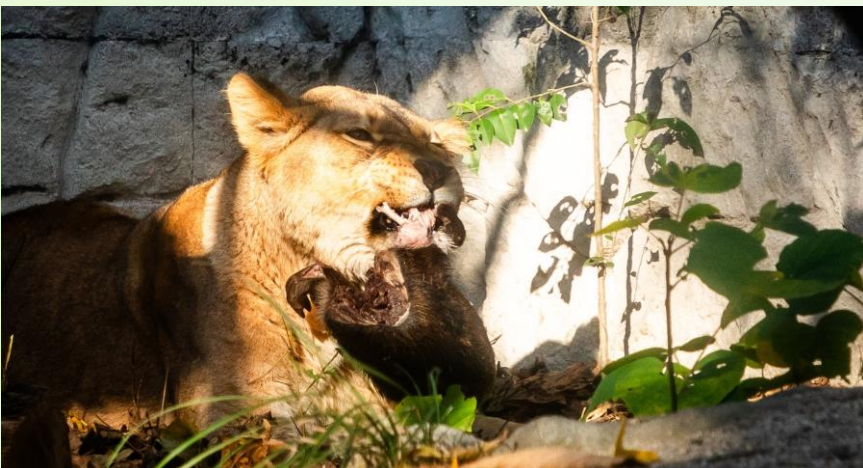
動物たちが心身ともによりよく生活できるように環境を豊かにするための工夫のことです。



飼育員から屠体給餌について説明を受けている様子です。



今回プレゼントされたのは、イノシシです。



☆屠体が届くまでの流れ

- ①罠で捕獲
- ②洗浄
- ③捌く
- ④凍結
- ⑤低温加熱
- ⑥搬入
- ⑦給餌